

令和3年度 事業計画

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大を受け、訪日外国人旅行者の激減、国による緊急事態宣言に伴う外出の自粛や店舗の休業を受け、日本経済にとってはリーマンショック以上の影響があり、日本国内だけでなく全世界で経済活動に大きな影響が出ました。

また、東京オリンピック・パラリンピックも開催が1年程度延期となりました。

コロナショックが世界を覆う中、わが国では世界でも例を見ないようなスピードで少子高齢化が進展し、労働力人口が減少する中、「生涯現役社会」を実現するために高齢者が働くことが重要となっており、働く意欲のある高齢者が地域社会で知識経験を活かして地域の活性化に寄与する等、日常生活に密着した就業機会を提供するシルバー人材センターの果たす役割は大きくなっております。

そうした中、当センターの最重要課題としております会員増強の取り組みはまだまだ道半ばでございますが、会員が増加することにより就業機会の拡大に期待が寄せられるところでございます。

令和3年度においても、引き続き会員増強に注力しながら就業機会の拡大を図ります。

そして、地域にとって魅力あるシルバー人材センターとなるよう役職員及び会員一同が協力し合いながら、また、コロナ禍の状況において健康管理の徹底と感染防止等の徹底を図り、次の事業を進めてまいりますので会員の皆様のご協力をお願いいたします。

さらに、令和3年は昨年延期となった東京オリンピック・パラリンピックの開催年でございます。多くの観客をおもてなしの心で迎えながらも、新型コロナウイルスの感染拡大防止にも取り組み、大会の成功に向けてお手伝い出来ればと考えておりますので、会員ボランティアのご参加など皆様のお力添えを賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

1. 普及啓発事業の推進

(1) 事業広報と会員増強の取り組み

シルバー事業を社会に広く周知し、多くの市民に活用していただくよう、シルバー事業の広報に努めるとともに、一人でも多く

会員登録いただけるよう下記のとおり取り組みます。

- ①令和3年度末の会員数の数値目標を2,250人とし、達成にむけて各市の高齢者の団体にシルバー人材センター事業をPRするなどして、元気で働く意欲のある高齢者の会員増強を図ります。
- ②毎年10月のシルバー人材センター普及啓発強化月間に合わせて、新聞折込広告を配布するとともに、各市での出張説明会をはじめ、女性を対象とした入会説明会、休日における出張説明会を開催し、普及啓発活動を推進します。
- ③たくさんの市民が集う朝霞市の「彩夏祭」、志木市の「市民まつり」、和光市の「ゆめあい和光まつり」等に参加し、センター事業のPRに努めてまいります。新型コロナウイルスの感染拡大による影響で、多くの人が集うイベントが中止となることも想定し、バス車内放送広告や市役所インフォメーション掲出等の事業PRを実施いたします。
- ④会員自らの力で会員増強や仕事募集につなげる目的で、会員による紹介キャンペーンを実施し、ご紹介いただいた会員に粗品を進呈いたします。
- ⑤センターのパンフレットや、広報委員会が年2回発行する「シルバーだより」を公共機関に配架するほか、市の広報紙や掲示板、センターホームページを活用し、事業のPRに努めます。

(2) 就業機会の開拓と提供

令和3年度の目標契約金額を10億8千万円（請負・委任）とし、請負・委任事業と派遣事業それぞれの性質に応じて新規開拓・既存就業先の拡大を行い、会員の能力と希望に応じて提供できるよう努めます。

- ①就業機会開拓専門員が担当地区の既存就業先の拡大及び事業所訪問による新規開拓に努め、就業率の向上を図ります。
- ②当センターのホームページを活用し、会員に仕事情報を公開し、希望する会員は等しく応募する機会を設けることで、会員が自

発的・積極的に活動できる環境を整えます。

- ③就業機会拡大として、既存の就業先での女性の活用についても引き続き調査してまいります。

2. 安全・適正就業の推進

(1) 安全就業の推進

安全と健康管理はセンター事業の最も重要な課題であり毎年事故ゼロを目標にしておりますが、就業中・途上での事故は毎年10件から12件程度の発生で推移しております。

これまで以上に一人一人が日々の健康管理と安全就業とに努めていただき、また、就業中や途上での事故ゼロを目指して、安全委員会を中心に引き続き活動を行ってまいります。

- ①シルバーだよりやセンターホームページに、安全関連記事・事故事例の掲載を行い、会員一人一人に就業中及び行き帰りの事故防止への意識啓発を行います。
- ②安全委員会による就業場所巡回を年3回実施し、必要に応じて指導・助言を行います。
- ③就業途上の傷害事故では自転車乗車時の事故が多く見られることから、朝霞警察署等関係機関と連携をとり、自転車安全運転講習会を開催し交通安全の再認識を図ってまいります。
- ④シルバー人材センター安全・適正就業強化月間（7月）に合わせ、安全就業啓発チラシを全会員に配布します。
- ⑤無事故の期間を事務所内の目立つ場所に貼り出す等して、目に見えるかたちでの意識啓発を図ります。

(2) 適正就業の推進

公益法人として関係法令を遵守し、契約書の取り交わしや仕様書の見直しと整備を図るとともに、就業の適正化に努めてまいります。

- ①請負契約について埼玉労働局等の関係機関から指摘や指導を受けることのないよう、契約書や仕様書の整備や就業実態の適正

化に引き続き取り組みます。

②請負や委任になじまない業務については、シルバー派遣事業で対応できるよう発注者と交渉してまいります。

③「就業の基準に関する要綱」に基づき、長期就業者の交替やローテーション就業を推進し、会員に公平な就業機会を提供することができるよう努めてまいります。

3. 組織、運営体制の整備充実

シルバー人材センター事業を継続していくためには安定的な財政基盤が重要となります。国や市からの補助金を有効活用して事業を進めておりますが、これまで以上に安定した財政基盤を築くため、更なる経費の節減に努めるとともに、自主財源の確保として正会員年会費額や事務費率についても他市の状況等を調査いたします。

また、適切な会計処理ができるよう助言・指導を求めるため、税理士と委託契約を交わします。

4. 情報交換及び調査研究

(1) ホームページの充実

センターホームページを活用し、入会説明会や安全関連記事、仕事情報の提供などの情報をお伝えできるよう努めてまいります。

また、県内外を問わず先進地域のシルバー人材センターと情報交換を行い、好事例の情報収集に努め、より効率的で効果的な体制の整備に向けて調査研究を行ってまいります。

(2) 会員活動の充実

会員有志による親睦会活動が平成30年度から始動しております。引き続き会員が自立的に交流・成長し、親睦会活動が従来以上に発展するよう近隣センターの状況等を引き続き調査し、必要に応じて情報提供をしてまいります。

(3) 中期計画策定に係る調査研究

事業強化を目的とする中期計画の策定に向け、引き続き調査研究してまいります。

5. 研修等

(1) 新規入会説明会について

毎月入会説明会を開催し、センターへの新規入会を希望する方に対して、センター事業の基本理念・仕組み及び現状を正しく理解していただいた上で入会登録をしていただきます。

(2) 技能研修等の推進

技能・技術を持った会員の入会を待つだけではなく、会員に対して知識や技能の向上・習得を図るため、新型コロナウイルスの感染対策をとりながら、次のように各種講習会を開催いたします。

- ①就業時の緊急対応を円滑に行うため、施設管理就業会員を中心に消防訓練及び普通救命講習（AED）を実施いたします。
- ②後継者となる会員の育成及び需要の多い時期の発注に対応するため、植木剪定講習を実施し、就業会員の養成を図ってまいります。
- ③公的な施設管理業務に就業する会員を対象に、施設利用者への接遇能力の向上を目的とした接遇研修を実施いたします。
- ④刈払機講習会を実施し、後継者となる会員の育成及び需要の多い時期の発注に対応してまいります。

(3) 会員親睦研修旅行

多くの会員が交流と親睦を深められるようにという思いから始められた会員親睦研修旅行でございますが、新型コロナウイルス感染症の影響が大きいことから、親睦研修旅行のあり方を含めて検討してまいります。

(4) フレイル予防

会員が元気に長く地域で働くことを目指すため、自身の体力を知ることが重要と考え、東京都健康長寿医療センターと連携して会員向けの健康体力測定講座を実施します。

6. 事務局体制の効率化と充実

事務局職員の資質向上のため、各種研修会への参加、定期的なミーティングを実施することで情報の共有化を進め、公益社団法人の事務局として多様化する事務に対して、より効率的な執行体制の整備に努めてまいります。

また、職員の新型コロナウイルス感染による事務局機能の停止という事態が回避できるような体制づくりにも取り組んでまいります。

7. シルバー派遣事業

公益財団法人いきいき埼玉の実施事務所として、シルバー派遣事業を推進し、従来のシルバーの働き方である受託・請負事業以外にも高齢者に就業機会を提供できるよう努めてまいります。

8 東京2020オリンピック・パラリンピック

朝霞地区は東京2020オリンピック・パラリンピックの会場都市でもあります。大会期間中には多くの観客が観戦に訪れる機会をとらえ、センター事業のPRに努めるとともに、会員ボランティアによるシンボルロード付近での活動等により、おもてなしの心で大会の成功に向けてお手伝いが出来ればと考えております。